

和歌山工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	地理総合
科目基礎情報						
科目番号	0039		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	電気情報工学科		対象学年	2		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	わたしたちの地理総合（二宮書店）、地図帳（帝国書院）、配布プリント					
担当教員	川崎 有里紗					
到達目標						
1. 世界や日本の自然環境や社会環境を理解できる 2. 世界各地でおこっている地球的課題に対して理解できる 3. 地域の特徴を地図化し、視覚的情報として理解できる						
世界各地や日本の環境を理解し説明できることで、国際的視野が身につくことを目標とする。 また、地域どうしの交流や課題などを知り、国際社会に対応できる教養を身につける。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	世界や日本の自然環境や社会環境を理解できる		世界や日本の自然環境や社会環境を基本的に理解できる		世界や日本の自然環境や社会環境を理解できない	
評価項目2	世界各地でおこっている地球的課題に対して理解できる		世界各地でおこっている地球的課題に対して基本的に理解できる		世界各地でおこっている地球的課題に対して理解できない	
評価項目3	地域の特徴を地図化し、視覚的情報として理解できる		地域の特徴を地図化し、視覚的情報として基本的に理解できる		地域の特徴を地図化し、視覚的情報として理解できない	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	この授業では世界各地や日本の自然・社会・文化などを取り上げる。地図や統計資料を用いながら、地理的な見方・考え方を養うことを目指す					
授業の進め方・方法	プリント、視聴覚教材を用いた授業を行う					
注意点	日頃から新聞やニュースを見るようにすること					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	球面上の世界	授業内容を理解できる		
		2週	国家の領域と領土問題	授業内容を理解できる		
		3週	日常生活のさまざまな地図	授業内容を理解できる		
		4週	自然環境 1 地形	授業内容を理解できる		
		5週	自然環境 2 気候（1）	授業内容を理解できる		
		6週	自然環境 3 気候（2）	授業内容を理解できる		
		7週	産業の発展 1 農業	授業内容を理解できる		
		8週	これまでのまとめ	授業内容を理解できる		
	2ndQ	9週	産業の発展 2 工業	授業内容を理解できる		
		10週	言語・宗教と生活文化	授業内容を理解できる		
		11週	経済発展と生活文化の変化 東アジア	授業内容を理解できる		
		12週	宗教の多様性と生活文化 東南アジア	授業内容を理解できる		
		13週	水の恵みと生活文化 南アジア	授業内容を理解できる		
		14週	イスラーム圏の生活文化	授業内容を理解できる		
		15週	試験返却・解説	試験返却・解説		
		16週				
後期	3rdQ	1週	多様な気候と生活文化 アフリカ	授業内容を理解できる		
		2週	さまざまな社会の形成と生活文化 ラテンアメリカ	授業内容を理解できる		
		3週	多文化社会の実現と生活文化 オセアニア	授業内容を理解できる		
		4週	地域統合による生活文化の変化 1 ヨーロッパ	授業内容を理解できる		
		5週	地域統合による生活文化の変化 2 ヨーロッパ	授業内容を理解できる		
		6週	寒冷な気候と生活文化 ロシア	授業内容を理解できる		
		7週	グローバル化による成長と課題 1 アメリカ	授業内容を理解できる		
		8週	これまでのまとめ	授業内容を理解できる		
	4thQ	9週	グローバル化による成長と課題 2 アメリカ	授業内容を理解できる		
		10週	地球的課題と国際協力 1	授業内容を理解できる		
		11週	地球的課題と国際協力 2	授業内容を理解できる		
		12週	日本の自然環境	授業内容を理解できる		
		13週	日本の諸地域の特徴	授業内容を理解できる		
		14週	生活圏の諸課題と防災	授業内容を理解できる		
		15週	試験返却・解説	試験返却・解説		

		16週		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標				
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル 授業週
評価割合				
		定期試験	発表・課題・提出物	合計
総合評価割合		70	30	100
配点		70	30	100